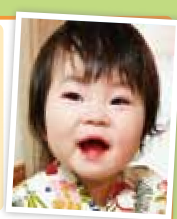
はじめまして えなっ宝

出生おめでとう
（5/16～6/15届出分）

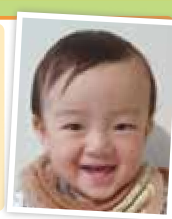
（　　）は保護者

1歳になりました 7月生まれ お誕生日おめでとう！



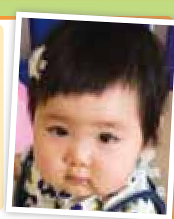
なっちゃん1歳おめでとう！たくましく、優しい子に育ってね。

荻野夏羽（なつは）ちゃん 大井町
父 陽平さん 母 萌さん



1歳おめでとう！笑顔いっぱい元気に大きくなってね！

西尾啓（けい）くん 大井町
父 朋也さん 母 かなみさん

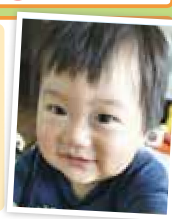


日鞠1歳おめでとう！いつも素敵な笑顔をありがとう元気に育ってね♡

野村日鞠（ひまり）ちゃん 大井町
父 真一さん 母 直美さん

1歳おめでとう！これからも、あふれる笑顔でみんなを明るくしてね！

丹羽ひかりちゃん 大井町
父 力人さん 母 みなみさん

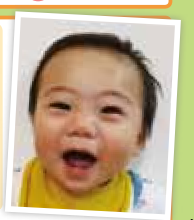


いつも笑顔をありがとう！元気いっぱい大きくな～れ！

河原暖（だん）くん 大井町
父 正徳さん 母 歩美さん

紗葉ちゃん☆生まれてきてくれてありがとう☆これからもよろしくね☆

大栗紗葉（さわ）ちゃん 岩村町
父 秀法さん 母 陽子さん



1歳おめでとう！これからもお兄ちゃんと仲良く元気に大きくなってね

市川成悟（せいご）くん 笠置町
父 大地さん 母 直美さん

子育ての総合相談窓口 えなっ宝ほっとステーション えなっ宝 検索

8月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。顔全体と胸から上が写った写真に❶住所❷氏名（ふりがな）❸生年月日❹性別❺電話番号❻両親の氏名（ふりがな）❼32字以内のコメント❽ケーブルテレビ放映の可否ーを添えて、7月16日㈫までに電子メールで申し込んでください。郵送での申し込みも可能です。掲載は先着8人までです。

□申し込み・問い合わせ
✉info@city.ena.lg.jp
〒509-7292（住所不要）
総務課℡26-2111（内線324）

園・小中学校トピックス

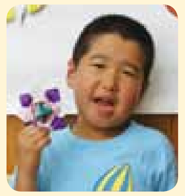
おばあちゃん一緒に折り紙作ろうね

上矢作こども園

5月27日、上矢作こども園の5歳児10人が、高齢者福祉施設「寿限無（じゅげむ）の里」の利用者と交流しました。

園児は、音楽に合わせて体操を披露したり、『かえるの合唱』を利用者と輪唱したりしました。その後、園児と利用者が二人一組になって、折り紙で風船を作りました。完成した風船を園児が口で膨らませると、利用者が「手でポーンと跳ね上げてごらん」とアドバイス。赤や黄、青など色とりどりの風船があちこちで跳ね上がりました。

約1時間の交流は、たくさんの笑顔に包まれた楽しい時間となりました。



年長
市岡龍征（りゅうせい）君

初めて会うおばあちゃんと遊べて楽しかったです。おばあちゃんの好きな色を聞いて、その色の折り紙を持ってきてあげて、一緒に風船を作りました。最後におばあちゃんから、折り紙で作ったこまをもらって、うれしかったです。

学ぼう伝えよう 輝く恵那人 177人目 HUMAN WATCH

東野大門
桐山（きりやま）智子（さとこ）さん 62歳

□プロフィル
たべるサポーターや食改活動の傍ら、地歌舞伎を守るため地歌舞伎講座なども行う。東野歌舞伎保存会所属。演じるときは男形。

食は人を元気にさせる
食に関する活動を30年以上続ける

市で新しく始まった「たべるサポーター」事業。桐山さんは、その第1期生だ。しかし、食に関する活動歴は30年以上になる。

桐山さんは、兵庫県西宮市出身で、結婚後に家族で恵那に引っ越してきた。今の活動を始めたきっかけは、近所の人に誘われて参加した公民館の栄養教室。栄養教室を卒業すると食生活改善推進員（食改員）になった。思い返せば、中学の頃に急に母親が栄養バランスのことを言うようになった。当時は知らなかったが、母親も食改員だった。「きっとその頃、母も食改に入ったのだと思う」と笑う。

乳幼児学級で栄養について教えたり、小学校で児童と調理をしたり、成人に減塩の話をしたり、さまざまな活動の中で心掛けているのは、面白い話と見せる工夫。一日に必要な野菜は350㌘と言うだけではなく、量を示す。「食改員は、学んだことを伝える使命がある」と思うからだ。

面白い話は、得意分野だ。桐山さんの特技は、歌舞伎、落語、南京玉すだれ、歌謡ショーやモノマネなど、盛りだくさん。「面白いと頭に残るから」と、落語に食の話を取り入れることもある。

▲子どもたちに消化の仕組みを分かりやすく話す

たべるサポーターの活動で、今年は市内の全こども園でエーナ健幸体操を踊る。歌詞の中で特に好きなのは「お肌もうんちもつるんつるん」という部分。子どもも大人も笑ってくれるからだ。「食と笑いはつながっている。どちらも人を元気にさせる」。そう考えて活動を続けている。

大学時代、田舎暮らしを始めた教授の家を訪ねたことがあった。学生たちに出してくれた野菜とベーコンの炒め物。食べて衝撃を受けた。「炒めただけのタマネギがこんなにおいしいなんて」。畑で採れたばかりのタマネギの自然の甘さ、野菜本来の味だった。そんな野菜のおいしさも伝えたい。これからも笑いを交えながら、食の大切さを伝えていく。